

# 大学院特別講義

( 医歯学先端研究特論 )( 生命理工学先端研究特論 )

( 医歯理工先端研究特論 )

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

講 師： 名古屋大学大学院医学系研究科

細胞生物学分野 教授

宮田 卓樹 先生

演 題： 小脳皮質の形成機構：

プルキンエ細胞の移動と配置のしくみを追う

日 時： 平成 24 年 4 月 24 日(火) 17 時 30 分～19 時 30 分

場 所： M&D タワー 13 階 大学院講義室 2

内 容：

胎生期の小脳原基における現象の理解は、出生後の小脳や胎生期の大脳原基に関しての理解に比べてかなり遅れている。細胞レベルでのストーリー把握が充分でないため、仮にある分子の「重要」さが分かったとしても、それが「どう重要」なのか、具体的に細胞に何をさせているのかよく分からない。その例が細胞外分子リーリンである（1995年発見，2000年にヒト先天性脳形成不全症例報告、しかし依然、機能について謎深い）。最近、層形成の口火を切る一群のプルキンエ細胞の挙動に注目して追跡、ライブ観察を行った結果、移動・配置・軸索形成の様子が、従来考えられていたのとは随分異なるということが分かった。そして、その納得に基づいて、リーラー小脳原基におけるプルキンエ細胞の「最初のしくじり」について理解を深めることができた。

担当：細胞生物学分野

連絡先：システム神経生理学分野 杉原 泉

内線 5152/5153